

## 第15回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 開催要項

- 【趣旨】 本大会は、「アスレティックトレーニングの社会知—形式知と実践知の融合による社会実装—」をテーマに開催される。アスレティックトレーニング学においては、研究成果として体系化された形式知と、現場経験に基づく実践知を統合し、臨床・教育・研究へ還元することが重要である。本大会では、これらの知の融合を基盤として、スポーツ現場にとどまらず、医療・地域・産業など多様な領域における健康およびパフォーマンス向上への貢献を目指す。さらに、研究者・臨床家・教育者の協働を通じて、アスレティックトレーニングの知見を社会へ実装する方策を共有し、専門職としての資質向上と社会的役割の深化を図ることを目的とする。
- 【主催】 日本アスレティックトレーニング学会
- 【後援】 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構、独立行政法人日本スポーツ振興センター、特定非営利活動法人 NSCA ジャパン、特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会、一般社団法人千葉県アスレティックトレーナー協議会、公益社団法人千葉県スポーツ協会、公益財団法人日本スポーツ協会、一般社団法人日本スポーツ理学療法学会
- 【所管】 第15回日本アスレティックトレーニング学会学術大会
- 【協賛】 株式会社アスレ、日本液炭株式会社、株式会社 vit、日本シグマックス株式会社、ウェルコム株式会社、日本ストライカー株式会社、エフビートライアングル株式会社、独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター、大塚製薬株式会社、特定非営利法人日本トレーニング指導者協会、株式会社クレーマー・ジャパン、日本ライトサービス株式会社、株式会社コチキャリ、ニチバン株式会社、酒井医療株式会社、株式会社バランステック京都、サンテプラス株式会社、株式会社ヒューネット、株式会社 Japan Insider、株式会社フォーアシスト、株式会社ジョイライフ、医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院、一般社団法人スポーツ医学検定機構、松吉医科器械株式会社、一般社団法人スポーツサイエンスラボラトリー、株式会社メゾン、ZERO-ONE 合同会社、Wattbike Japan、一般社団法人大学スポーツ協会、株式会社 TANITA、dinx 株式会社

【カテゴリーC:国内での研修会】

- 【募集期間】 2026年1月15日(木)～2026年3月8日(日)17時まで
- 【開催日時】 令和8年6月27日(土) 9:00～6月28日(日)17:00
- 【開催方法】 集合研修、オンデマンド
- 【会場】 幕張メッセ国際会議場  
(〒261-8550・千葉市美浜区中瀬2丁目1-1)
- 【内容】 シンポジウム、教育公園、学術ワークショップ、クリニカルワークショップ、  
市民講座、ランチョンセミナー、一般演題
- 【参加者】 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー  
日本スポーツ協会公認スポーツドクター  
健康運動指導士・健康運動実践指導者  
日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者  
NSCA 認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト、パーソナル  
トレーナー  
理学療法士  
大学生・大学院生
- 【参加人数】 約1000名
- 【参加料】 【早期登録(6月14日まで)】  
正会員 ¥9,000  
非会員 ¥11,000  
学生 ¥5,000
- 【通常】  
正会員 ¥11,000  
非会員 ¥13,000  
学生 ¥6,000
- 【申込方法】 学術大会 Web サイトからオンライン登録
- 【URL】 <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsatconference2026>

【カテゴリーC:国内での研修会】

【お問合せ先】 大会事務局  
国際武道大学コンディショニング科学研究室  
〒299-5295 千葉県勝浦市新官 841 番地  
E-mail: 2026jsat@gmail.com

【その他】 【オンデマンド、現地参加及びオンデマンドのハイブリッドの場合】  
合計視聴・聴講時間が4時間(240分)以上になるように指定演題を聴講(来場参加)もしくは複数視聴(オンデマンド)し、オンデマンド視聴については学術大会事務局が準備するアンケートを演題毎に必ず回答してください。  
※ それぞれのプログラムには決められた講演時間がありますので、最初から最後まで視聴もしくは聴講してください。オンデマンド視聴については、視聴記録が不十分と判明した場合や演題毎のアンケートに回答がない場合、その講演については視聴時間にはカウントされませんのでご注意ください。  
※ 来場参加とオンデマンド視聴を併用して合計聴講・視聴時間を満たすことも可能です。その場合、視聴分はアンケート回答(対象プログラム毎に Google フォームへの回答)をもって受講したと証明されますのでご注意ください。

本研修会は、JSPO-AT 他、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修となります。詳細は以下及び日本スポーツ協会ホームページをご確認ください。

<JSPO-AT>

本研修会における指定演題(プログラム)への4時間以上の聴講により、JSPO-AT 更新登録要件における「カテゴリーC:JSPO が認める国内での研修への参加」にて2単位を取得します。

<その他の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格>

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格のうち、一部資格については、別途定められた更新研修を修了する必要があります。対象となる資格については日本スポーツ協会ホームページをご確認ください。

【カテゴリーC:国内での研修会】

指定演題一覧

2026年6月27日

時刻	内容	
9:20	大会長講演 アスレティックトレーニングの社会知～実践知と形式知の融合による社会実装～ 講師 笠原政志(国際武道大学体育学部 教授)	(30分)
15:00	シンポジウム① :運動・スポーツ活動中の安全対策に向けた社会実装 講師 中村宇一(スポーツ庁 健康スポーツ課 課長) 熊田有里(滋賀レイクスアリーナエンターテイメント部 部長) 阿部慶太郎(滋賀レイクスアスレティックトレーナー) 関秀彰(千葉県教育庁教育振興部保健体育課 室長)	(90分)
10:00	教育講演① 実践研究手法:卓越した選手・コーチ・トレーナーが獲得した実践知を公共化する意義と手続き-1名・1事例を対象としたコツとカンの実践研究 - 講師 會田宏(筑波大学体育学群 教授)	(60分)
12:40	教育講演② コンディショニング手法の科学的根拠:現場で多用されるコンディショニング手法の科学的根拠 講師 阿部さゆり(PRI JAPAN)	(60分)
13:50	教育講演③ 運動と力学の関係:運動と認知・学力との関連に関する最新の研究知見 講師 紙上 敬太(中京大学教養教育研究院 教授)	(60分)
10:00	学術ワークショップ① 臨床スポーツ合同 頭部外傷対応 一受傷から復帰まで一:頭部外傷の現場対応から復帰判断まで一医科学的観点と現場実践一 講師 中山晴雄氏(東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 准教授)	(90分)
12:40	学術ワークショップ② スポーツ現場における安全配慮義務について:現場指導者・トレーナーが理解すべき安全配慮義務とその法的責任 講師 飯田 研吾(兼子・岩松法律事務所 弁護士)	(90分)
14:20	学術ワークショップ③ 臨床スポーツ医学会合同企画:医師からみたアスレティックトレーナ	(90分)

【カテゴリーC:国内での研修会】

	<p>ーに求めるもの</p> <p>講師 立石智彦(湘南鎌倉総合病院 スポーツ総合診療センター)</p> <p>上村公介(順天堂大学医学部総合診療科学講座)</p>	
--	--	--

2026年6月28日

時刻	内容	
9:00	<p>シンポジウム②</p> <p>:アスレティックトレーニング領域の研究成果はどのようにスポーツ現場で実装されているのか</p> <p>講師 山下大地(国立スポーツ科学センター)</p> <p>太田千尋(パフォーマンスゴールシステム株式会社)</p> <p>秋吉直樹(Jメディカルおゆみの 理学療法士)</p>	(90分)
10:40	<p>シンポジウム③</p> <p>:スポーツ医科学の社会実装～科学×現場実装×地域部活動の政策活動</p> <p>講師 鈴木章(ハイパフォーマンススポーツセンター)</p> <p>津々木 晶子(スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐)</p> <p>広瀬統一(早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)</p>	(90分)
13:20	<p>教育講演④</p> <p>暑熱対策・コンディショニング科学:最新の暑熱対策とパフォーマンス維持のためのコンディショニング科学的知見</p> <p>講師 細川由梨(早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授)</p>	(60分)
14:30	<p>公開講座</p> <p>:動くことで変わる、わたしの毎日～ライフパフォーマンスを高めるアスレティックトレーニングの知と実践～</p> <p>講師 牧野 講平(森永製菓株式会社 in トレーニングラボ Educational Director)</p> <p>高梨 沙羅(2026年ミラノコルティナ五輪メダリスト)</p> <p>高藤 直寿(2021年東京五輪メダリスト)</p>	(90分)